

平成25年度 事業報告書

議案第1号

平成25年度古河市社会福祉協議会事業報告書



社会福祉法人

古河市社会福祉協議会

平成25年度 古河市社会福祉協議会 事業報告書

平成26年3月31日現在

執行体制（56名）

- | | | | | | |
|------|----|------|-----|------|-----------|
| ・会 長 | 1名 | ・副会長 | 2名 | ・理 事 | 11名（欠員1名） |
| ・監 事 | 2名 | ・評議員 | 40名 | | |

職員体制（228名） 【H24年度245名】

局長以下の正職、職員について平成24年度は、46名で、平成25年度は45名の1名減になりました。2名の嘱託職員の退職と1名の正職の採用によるものです。

○事務局・正職・嘱託45名 【H24年度 46名】

- ・局長1名・次長3名（課長兼務3名）・課長2名（係長兼務1名）・副参事1名
- ・課長補佐3名（係長兼務3名）・係長11名・主幹9名・主事6名・主事補1名
- ・嘱託8名

○臨時44名 【H24年度 57名】

（内訳）

給食サービス・デイスティ	1名	介護事業	1名
児童クラブ	34名	せせらぎの里	2名
サポートセンター	6名		

○非常勤職員139名 【H24年度 142名】

（内訳）

登録ホームヘルパー	38名	児童クラブ子育て協力員	63名
デイスティ事業協力員	11名	日常生活自立支援事業支援員	12名
ふれあいの湯等介助員等	4名	給食サービス看護師	2名
子育て広場協力員	9名		

1. 法人運営

理事会の開催

第1回

日 時 平成25年4月15日（月）午後1時30分
場 所 古河市中央公民館 研修室
出席者 理事12名（書面議決3名） 監事1名
議 事 ①社会福祉法人古河市社会福祉協議会職員給与等に関する一部変更について

第2回

日 時 平成25年5月27日（月）午前10時
場 所 古河市中央公民館 会議室
出席者 理事15名 監事2名
議 事 ①古河市社会福祉協議会評議員の選任について
②平成24年度古河市社会福祉協議会一般会計補正予算（第3号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて
③平成24年度古河市社会福祉協議会事業報告について
④平成24年度古河市社会福祉協議会一般会計収入支出決算について
⑤平成24年度古河市社会福祉協議会特別会計収入支出決算について

第3回

日 時 平成25年7月24日（水）午前10時
場 所 古河市中央公民館 学習室
出席者 理事14名（書面議決1名） 監事2名
議 事 ①平成25年度古河市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）（案）について

第4回

日 時 平成26年2月14日（金）午前10時
場 所 古河市中央公民館 会議室
出席者 理事3名（書面議決10名）
議 事 ①古河市社会福祉協議会評議員の選任について
②平成25年度古河市社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）（案）について

第5回

日 時 平成26年3月28日（金）午前10時
場 所 古河市中心公民館 会議室
出席者 理事10名（書面議決2名） 監事1名
議 事 ①平成26年度古河市社会福祉協議会事業計画（案）について
②平成26年度古河市社会福祉協議会一般会計予算（案）について
③平成26年度古河市社会福祉協議会特別会計予算（案）について
④古河市社会福祉協議会定款の一部変更について

【H24年度6回開催】

評議員会の開催

第1回

日 時 平成25年5月27日（月）午後1時30分
場 所 古河市中心公民館 会議室
出席者 評議員26名
議 事 ①平成24年度古河市社会福祉協議会一般会計補正予算（第3号）の専決処分
の報告及び承認を求めることについて
②平成24年度古河市社会福祉協議会事業報告について
③平成24年度古河市社会福祉協議会一般会計収入支出決算について
④平成24年度古河市社会福祉協議会特別会計収入支出決算について

第2回

日 時 平成25年7月24日（木）午後1時30分
場 所 古河市中心公民館 学習室
出席者 評議員30名
議 事 ①平成25年度古河市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）（案）
について

第3回

日 時 平成26年2月18日（火）午前10時
場 所 古河市中心公民館 会議室
出席者 評議員22名
議 事 ①平成25年度古河市社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）（案）
について

第4回

日 時 平成26年3月28日(金) 午後1時30分
場 所 古河市中央公民館 会議室
出席者 評議員27名
議 事 ①平成26年度古河市社会福祉協議会事業計画(案)について
②平成26年度古河市社会福祉協議会一般会計予算(案)について
③平成26年度古河市社会福祉協議会特別会計予算(案)について
④古河市社会福祉協議会定款の一部変更について

【H24年度5回開催】

監事会の開催

日 時 平成25年5月14日(火) 午前9時
場 所 社会福祉協議会総和事務所
出席者 監事2名
内 容 ①平成24年度の監査について

共同募金支会委員会の開催

第1回

日 時 平成25年5月27日(月) 午前10時
場 所 古河市中央公民館 会議室
出席者 委員15名 監事2名
議 事 ①平成24年度茨城県共同募金会古河市支会実績報告について
②平成24年度茨城県共同募金会古河市支会一般会計寄付金経理区分資金収入支出決算について
③平成24年度茨城県共同募金会古河市支会一般会計災害たすけあい義援金経理区分収入支出決算について
④平成24年度茨城県共同募金会古河市支会一般会計本部経理区分収入支出決算について

第2回

日 時 平成25年3月28日(金) 午前10時
場 所 古河市中央公民館 会議室
出席者 委員10名(書面議決2名) 監事1名
議 事 ①平成26年度茨城県共同募金会古河市支会事業計画(案)について
②平成26年度茨城県共同募金会古河市支会一般会計寄付金経理区分予算(案)について
③平成26年度茨城県共同募金会古河市支会一般会計災害たすけあい義援金経理区分予算(案)について
④平成26年度茨城県共同募金会古河市支会一般会計本部経理区分予算(案)について

共同募金配分委員会の開催

第1回

日 時 平成25年8月28日(水) 午前10時30分
場 所 古河市中央公民館 学習室
出席者 委員6名
内 容 ①共同募金配分委員会委員長、副委員長の選出について
②歳末地域たすけあい事業配分について

第2回

日 時 平成25年11月20日(水) 午前10時
場 所 古河市中央公民館 会議室
出席者 委員4名
内 容 ①平成25年度歳末たすけあい募金要援護世帯援護金配分対象者の決定について
②平成25年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分金額の決定について

役員・評議員研修会

日 時 平成25年11月27日(水)
場 所 千葉県柏市社会福祉協議会
参加者 理事7名・監事1名・評議員12名・事務局5名
内 容 ①かしわ成年後見センターの事業概要について
(取扱件数、事業PR方法、予算、決算、補助金等)

認知症予防講演会

日 時 平成26年3月8日(土)
場 所 古河市生涯学習センター総和 とねミドリ館
参加者 約800名
内 容 今後の超高齢社会を乗り切るためには、認知症対策は最も重要な施策のひとつとなります。高齢者にとって関心の高い「認知症」とその予防方法について学び日常生活で実践し認知症の発症を予防・遅延すること、また地域全体で認知症についての正しい知識を身につけ、認知症の高齢者やその家族を地域で支えるため、どうしたらよいか自分たちで出来る事は何かを考えるきっかけ作りとすることを目的に実施しました。

主 催 古河市
共 催 古河市社会福祉協議会

社会福祉協議会費

社協財源の基盤となる社協会費を各世帯や企業等に、協力していただきました。

H25年度は、会費を増額させる取り組みとして、会長、事務局長以下係長までの職員で特別大口会費納入の依頼を各企業に訪問して実施しました。

	平成25年度	平成24年度	前年度比
一般会費	11,284,605 円	11,229,420 円	55,185 円増
特別会費	850,600 円	1,073,200 円	222,600 円減
特別大口会費	3,696,000 円	3,357,000 円	339,000 円増
合 計	15,831,205 円	15,659,620 円	171,585 円増

社協だよりの発行

H25年度の取り組みとして有料広告の募集を開始しました。

・有料広告掲載件数 4件 64,000円

第20号

発行日 平成25年6月14日

内 容 25年度事業計画・予算、会長就任あいさつ、新役員報告、ふれあいいきいきサロン事業紹介、高齢者給食サービス、在宅福祉サービスセンター、社協会費納入のお願い、ファミリー・サポート・センター事業案内、ふくしチャレンジスクール、寄付・寄贈報告、トピックス（学生ボランティアサークル「ふうせん」会員募集、リサイクル研修会、東日本大震災義援金募集、東日本大震災義援金報告、福祉まつり開催（仮称）古河ふれあい広場2013、チャリティーフリーマーケット報告、ガイドヘルパー募集）

第21号

発行日 平成25年10月15日

内 容 在宅福祉サービス利用者募集、古河社協介護ステーション案内、赤い羽根共同募金協力依頼、共同募金ありがとうメッセージ、歳末たすけあい募金配分申請案内、社協げんきフェスタ、特別大口会員紹介、事業報告・決算報告、社協会費報告、寄付・寄贈報告、トピックス（ファミサポ交流会報告、手づくりまつり案内、リサイクル研修会、古河ふれあい広場2013報告、婚活パーティー案内、子育てと向き合うための講座）

第22号

発行日 平成26年2月14日

内 容 成年後見制度、マスコットキャラクター募集、社会福祉大会受賞者報告、赤い羽根・歳末たすけあい募金報告、歳末たすけあい募金配分報告、特別大口会員紹介、福祉団体活動紹介、社協会費追加報告、寄付・寄贈報告、トピックス（ボランティア講演会案内、子育てと向き合うための講座、リサイクル研修会報告、婚活パーティー報告、手づくりまつり報告、社協げんきフェスタ報告、おもちゃドクター養成講座報告、睦月のつどい報告）

ホームページの公開

平成25度の取り組みとして社協ホームページの中に「ふれあいブログ」を開設しました。社協の活動を画像とともに紹介して閲覧数を増やしPRの効果を目指しました。

古河市社協のホームページアドレス URL <http://www.koga-syakyo.com/>

	H25年度	H24年度	前年度比
総閲覧者数	23,389件	14,345件	9,044件増

(H23.6開設)

福祉用具等の貸出

	H25年度	H24年度	前年度比
車椅子	305件	332件	27件減
介護用ベッド	129件	120件	9件増
チャイルドシート	33件	30件	3件増

2. 受託事業

ふれあいの湯運営事業

65歳以上の家に閉じこもりがちな方や、要介護状態になるおそれのある方に対し、健康チェック・食事サービス・入浴サービス、運動機能訓練及び生きがい講座等を通じて、社会的孤立感の解消・自立生活の助長や介護予防を図ることを目的に実施しました。

(入浴サービスは、火・水・木曜日のみ実施)

	H25年度	H24年度	前年度比
実施日数	224日	226日	2日減
利用者累計	2,754件	2,315件	439件増

《給食サービスボランティア交流会》

日時 平成26年2月17日(月)

場所 ネーブルパーク平成館

参加者 33名

内容 「食から始める健康づくり」についての学習会の後、ボランティア同士の交流と情報交換を行いました。

デイステイ事業

在宅の障がい児等への生活支援及び当該家族の負担軽減を図るため、緊急的又は一時的な事由により家庭での介護が困難になった場合に必要な身の回りの世話、援助を行いました。

実施施設 古河福祉の森会館

	H 2 5 年度	H 2 4 年度	前年度比
実施日数	3 4 5 日	3 4 7 日	2 日減
利用者累計	9 3 9 名	1, 0 0 4 名	6 5 名減
利用時間累計	3, 2 2 5 時間	3, 1 4 4 時間	8 1 時間増
支援スタッフ	1, 1 3 0 名	1, 1 6 7 名	3 7 名減

日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分で、親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行いました。在宅の方や施設入所中、病院入院中の方への支援を行いました。

	H 2 5 年度	H 2 4 年度	前年度比
契約件数	1 6 7 件	1 4 4 件	2 3 件増
支援中	4 9 件	5 4 件	5 件減
新規契約	1 5 件	1 6 件	1 件減
契約終了	2 0 件	9 件	1 1 件増

<生活支援員及び担当職員の会議・研修実施>

生活支援員現任研修会

開催日 平成 2 5 年 1 1 月 2 6 日(火)午後 1 時～

場 所 茨城県社会福祉協議会

出席者 生活支援員 5 名、専門員 2 名、担当者 1 名

内 容 ・日常生活自立支援がめざす「権利擁護」と自立支援
～「当たり前の生活」の実現を支援する生活支援員の役割～
・成年後見制度とは
～成年後見人の役割、申立てのタイミング～

専門員実践力強化研修会

開催日 平成 2 5 年 7 月 2 3 日(火)・2 4 日(水)

場 所 全国社会福祉協議会

出席者 専門員 1 名

内 容 ・日常生活自立支援事業の意義と役割・機能
・判断能力と契約締結能力に関する基本的理解
・相談援助活動演習

＜成年後見制度講演会の共催＞

開催日 平成26年2月27日(木)午後1時30～3時
 場 所 とねミドリ館
 参加者 350名
 内 容 成年後見センター・リーガルサポートセンター茨城支部の司法書士、下村竜二氏による「自分らしく暮らすために」と題した講演の後、社会福祉協議会から4月開設予定の「成年後見サポートセンターこが」事業についての説明を行いました。

総和老人福祉センター「せせらぎの里」管理運営事業

＜せせらぎの里運営＞（指定管理者制度導入事業）

	H25年度	H24年度	前年度比
利用者累計（個人）	23,718名	22,303名	1,415増
（団体）	9,843名	11,547名	1,704減
浴場利用者数	20,373名	19,219名	1,154増
	男女比（6：4）	男女比（6：4）	

・自主クラブ活動支援(各2回/月)詩吟クラブ・手芸クラブ・書道クラブ・舞踊クラブ

ファミリーサポートセンター管理運営事業

乳幼児一時預かり（指定管理者制度導入事業）

利用状況・運営実績

・会員登録状況

	H25年度	H24年度	前年度比
新規登録者（利用会員）	211名	118名	93名増
（協力会員）	0名	4名	4名減
継続利用者（利用会員）	246名	251名	5名減
（協力会員）	13名	14名	1名減

・施設預かり状況

	H25年度	H24年度	前年度比
施設開設日	359日	359日	0
利用者延べ人数	4,009名 11.17名/日	4,026名 11.21名/日	17名減
利用時間	23,622時間 65.8時間/日	23,111時間 64.4時間/日	511時間増

・相互支援状況

	H25年度	H24年度	前年度比
利用者延べ	34名 64回 249時間	38名 114回 597.5時間	4名減 50回減 348.5時間減

・保育所待機児童託児サービス 利用者 8名（前年度と同数）

・利用料収入

H 2 5 年度	H 2 4 年度	前年度比
7, 4 4 5, 5 3 0 円	7, 3 9 6, 5 1 3 円	4 9, 0 1 7 円増

ネーブル子育て広場管理運営事業

「ヤンチャ森」（指定管理者制度導入事業）

・利用状況・運営実績

	H 2 5 年度	H 2 4 年度	前年度比
開館日	3 5 6 日	3 5 7 日	1 日減
利用組数	9, 0 3 0 組 平均 2 5. 4 組／日	8, 3 7 3 組 平均 2 4. 8 組／日	6 5 7 組増
利用者数	2 2, 2 7 7 名 (大人 1 0, 8 0 4 名) (子ども 1 1, 4 7 3 名)	2 0, 5 7 8 名 (大人 9, 7 3 7 名) (子ども 1 0, 8 4 1 名)	1, 6 9 9 名増
利用延時間	1 6, 0 7 4 時間 平均 1. 8 時間／組	1 5, 0 5 5 時間 平均 1. 8 時間／組	
利用料収入	1 0 7, 2 0 0 円	1 2 6, 8 0 0 円	

※利用料〔市 内〕無 料

〔坂東市・境町・五霞町・野木町・加須市〕1世帯100円 278組

※上記は、平成26年1月より無料化となり、1月から3月までの利用は、160組となります。〔その他の世帯〕1世帯200円 397組

放課後児童対策事業

「児童クラブ運営」（受託事業）

利用料〔負担金〕1名5, 000円／月 ※古河市へ直接納入

〔活動費〕1名2, 000円／月 ※児童の飲食・教材費

利用状況・運営実績

・受入クラブ数（21クラブ）及び児童数 【 】内はH24年度です

上辺見児童クラブ	45名【60】	小堤児童クラブ	54名【56】
駒羽根児童クラブ	79名【74】	下大野児童クラブ	55名【52】
下辺見児童クラブ	58名【58】	西牛谷児童クラブ	36名【30】
中央小児童クラブ	97名【99】	釈迦児童クラブ	28名【30】
上大野児童クラブ	14名【9】	水海児童クラブ	53名【55】
諸川児童クラブ	67名【69】	八俣児童クラブ	43名【36】
名崎第1児童クラブ	30名【20】	名崎第2児童クラブ	39名【38】
仁連児童クラブ	43名【41】	駒込児童クラブ	31名【11】
大和田児童クラブ	18名【11】	3小のびっこ児童クラブ	40名【35】
6小平和町児童クラブ	44名【46】	6小桃ヶ里児童クラブ	25名【32】
7小ひまわり児童クラブ	75名【64】		

・指導員数

臨時職員（常勤指導員34名）

非常勤職員（非常勤指導員62名）

【H24年度（常勤指導員33名・事務員1名 非常勤職員（非常勤指導員63名）】

指導員研修会への参加

- ・全国学童保育指導員学校（小山市） 17名参加
- ・発達障害に関する勉強会（境町・古河市） 21名参加
- ・放課後子どもプラン研修会（筑西市） 10名参加
- ・赤十字幼児安全法短期講習会（健康の駅） 32名参加
- ・甲種防火管理者講習会（中央運動公園） 10名参加

指導員勉強会の実施

- ・「放課後の子どもたちと育ちのつまずき」
育ちにつまずく子どもたちへの支援（中央公民館） 91名参加

外国人等児童生徒教育支援事業

古河市の小・中学校に在籍する外国人児童生徒（その他、海外在留期間が長かった児童生徒・帰国子女・片親が外国籍の児童生徒を含む）で、日本語が不自由な者、学校生活に順応できていない者に対し、語学指導員・語学指導サポーターを派遣し、その児童生徒を支援しました。

業務内容

- ・日本語の指導及び教科学習等の支援
- ・日本の生活（主に学校生活）に慣れるための支援
- ・その保護者と学校との連携を図る支援（翻訳・通訳）
- ・その児童生徒の母国語の指導（親子のコミュニケーション）
- ・一般児童生徒に対する国際理解教育

語学指導員の業務

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ・業務の管理運営 | ・語学指導サポーターの指導及び監督 |
| ・派遣する指導員の調整（学校との打合せ） | ・指導計画の立案、教材の整理 |
| ・外国人児童生徒等の在籍状況調査 | ・日本語指導研修会 |

3. 援助事業

ひとり暮らし高齢者給食サービス（会食型）の実施

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、閉じこもりの防止と介護予防を目的に各公民館・コミュニティセンター等において、各地区民生委員の協力をいただき、バイタルチェックや給食サービスボランティアによる食事の提供を実施しました。
H25年度の取り組みとして総和地区も開始しました。またボランティア同士の交流会を行いました。

古河地区

実施会場 8会場（各月1回） 利用者累計 1,267名【H24年度 1,277名】

ボランティア 調理ボランティア（737名）、生きがい活動ボランティア（120名）

総和地区 ※H25年度より開始しました。

実施会場 ユーセンター総和（月1回） 利用者累計 165名

ボランティア 調理ボランティア（123名）、生きがい活動ボランティア（27名）

《給食サービスボランティア交流会》 ※H25年度より開始をしました。

日 時 平成26年2月17日（月）

場 所 ネーブルパーク平成館

参加者 33名

内 容 「食から始める健康づくり」についての学習会の後、ボランティア同士の交流と情報交換を行いました。

ひとり暮らし高齢者のつどい（睦月のつどい）の実施

ひとり暮らしの高齢者を招待し、ボランティア会員と昼食をとりながらレクリエーションやゲーム等を通じて交流し、1日を過ごすことを目的に閉じこもりを防ぐと共にボランティアの協力を得て実施しました。

開催日 平成25年1月16日（水）

場 所 総和老人福祉センター（せせらぎの里）

参加者 85名（対象者42名・ボランティア等43名）

ふれあいいきいきサロン事業の支援

地域住民が自主的に企画運営を行い、人と人とを結ぶ交流の場、仲間づくりの場を目指した活動を行いました。また、サロン運営に対しての助成金交付や活動メニューの提供、リーダーを対象とした情報交換会を行いました。

開設サロン数 36サロン【H24年度と同数】

内訳 古河地区 20サロン【22】

総和地区 6サロン【5】

三和地区 10サロン【9】

在宅福祉サービスセンター運営事業

住民参加型の非営利的な会員制の在宅サービスで、高齢者や障がい者などがある家庭や、子育て中の家庭に対し家事援助などの支援を行いました。（月～土曜日 ※日曜日・祝日を除く）

利用会員 34名【H24年度19名】（高齢者26名・障がい者1名・子育て中7名）

協力会員 26名【H24年度10名】

支援回数累計 1,530回【H24年度1,428回】

支援時間累計 3,132時間【H24年度2,946時間】

・掃除、洗濯	1,457時間	・食事調理	747時間
・買い物	254時間	・話し相手	469時間
・通院介助	205時間		

国際福祉機器展見学会の開催

市民の方々に最新の福祉機器の動向を知ってもらい、実際に触れることによって福祉への関心と理解を深めると共に参加者同士での情報交換等を通して交流を図ることを目的に実施しました。

開催日 平成25年9月19日(木)

場 所 東京国際展示場(東京ビックサイト)

参加者 26名

行旅人に対する援助

遠隔地から仕事探し等のために居住地を出て来たが、帰るための旅費がなくなってしまった者を対象とした援助を行いました。(限度額200円)

39件 7,800円【H24年度35件7,000円】

緊急生活支援対策事業

世界的な経済情勢の低迷により、市内企業や市民生活にも影響を及ぼし、依然として厳しい経済状況にあります。

古河市においても、暮らしの安心が脅かされている方に対し、緊急的な生活支援を行うことを目的に、下記の通り緊急支援策を実施しました。

内 訳・救援物資 5件 お米券 7枚 【H24年度9件、12枚】

風水震火災被災者に対する援助

火 災 全焼10,000円・半焼5,000円のお見舞い

全焼 11件 半焼 1件 【H24年度8件、2件】

各種団体に対する援助

①古河市民生委員児童委員第1地区協議会	255,000円
②古河市民生委員児童委員第2地区協議会	190,000円
③古河市民生委員児童委員第3地区協議会	327,000円
④古河市民生委員児童委員第4地区協議会	172,000円
⑤古河市民生委員児童委員第5地区協議会	132,000円
⑥古河市身体障害者(児)福祉団体連合会	570,000円
⑦古河市心身障害児(者)父母の会連合会	330,000円
⑧学生ボランティアサークルふうせん	100,000円
⑨古河市青少年相談員連絡協議会	50,000円
⑩古河市子ども会育成連合会	220,000円
⑪古河市母子寡婦福祉連合会	180,000円
⑫古河市ボランティア協会	750,000円
⑬古河市老人クラブ連合会	435,600円
⑭古河支部更生保護女性会	50,000円
⑮古河市聴覚障害者協会	30,000円
⑯古河視覚障害者協会	20,000円
⑰古河市くらしの会	30,000円
⑱猿島地区保護司会	30,000円

・18団体合計

3,871,600円【H24年度と同額】

歳末たすけあい配分事業

自己申請方式により、下記の対象世帯に一律12,000円【H24年度13,000円】を配分しました。

配分対象別	配分金額(円)	合計(件)
満65歳以上のひとり暮らし高齢者	4,668,000	389
満65歳以上の高齢者のみ世帯	1,188,000	99
満65歳以上の高齢者が中学3年生以下の児童を養育している世帯	24,000	2
要介護3以上の認定を受けている方が属する世帯	108,000	9
準要保護世帯の認定を受けている世帯	60,000	5
中学3年生以下の児童を養育している母子・父子世帯	1,080,000	90
障害者のいる世帯 ・身体障害者手帳1・2級 ・療育手帳BまたはA ・精神障害者保健福祉手帳1・2級	852,000	71
合 計	7,980,000	665

【H24年度 8,671,000円 667件】

4. ボランティア市民活動の推進

ボランティアセンター運営事業

地域社会において住民の参加するボランティア活動を推進し、福祉の諸問題を地域社会の計画的・協働な力によって、市民一人ひとりが安心して暮らせる福祉コミュニティ作りを目指すことを目的としています。

「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽にボランティアに参加できる環境づくりを目指し、ボランティア活動に関する相談、登録、コーディネート及びボランティア活動を行なう上での拠点の提供を行い、また、ボランティア活動情報の収集・提供と活動に関する講座等の開催、ボランティアグループとの連絡調整の緊密化等、ボランティア活動がより豊かなものになるように支援に努めました。

相談・登録【 】内は H24 年度です。

・登録数	団体	78 (会員 1,641 名) 【75 (1,511)】
	個人	801 名【785】
	合計	2,442 名【2,296】

- ・新規登録相談件数 21 件 (団体 4 件・個人 17 件) 【83】
- ・コーディネート 46 件 【30】

ボランティア活動保険への加入

ボランティア個人・グループが加入申込者となり、ボランティア活動中の様々な事故による負傷（傷害事故）、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった（賠償事故）等に幅広く対応補償する保険です。（加入者 327 名）

児童・生徒ボランティア活動協力校の指定及び連携

市内小中学校及び高等学校等をボランティア協力校として指定し、児童・生徒に対するボランティア活動の普及活動に取り組み、また、様々なボランティア事業への積極的な参加協力を促進しました。（上限額：30,000 円）

- ・小学校 23 校 (30,000 円 22 校 補助金辞退 1 校)
- ・中学校 9 校 (30,000 円 9 校)
- ・高等学校 6 校 (5,000 円 1 校、30,000 円 2 校、補助金辞退 3 校)
- ・専門学校 3 校 (補助金辞退 3 校)
- ・短期大学 1 校 (30,000 円 1 校)

学生ボランティアサークル「ふうせん」の育成援助

市内在住、在学の中学生以上の学生によって組織され、子ども会行事への協力、市で行う行事や福祉まつりへの参加など、活動が代々受け継がれています。

<自主活動>

- ・夏期育成研修会 13名
- ・春期育成研修会 12名

<派遣活動>

- | | | | |
|--------------------|-----|--------------|-----|
| ・子供会幹部研修会 | 4名 | ・夢あんどん夕涼み | 10名 |
| ・ふくしチャレンジスクール2デイ | 12名 | ・下辺見小若竹まつり | 2名 |
| ・ふくしチャレンジスクール(ツアー) | 11名 | ・利根川クリーン作戦 | 1名 |
| ・赤い羽根共同募金 街頭募金 | 14名 | ・ふれあいのつどい | 6名 |
| ・ふれあい広場 | 11名 | ・関東ド・マンナカまつり | 10名 |
| ・手づくりまつり | 6名 | ・釈迦っ子まつり | 4名 |
| ・クリスマス会 | 8名 | ・もちつき大会 | 17名 |
| ・特別支援学校運動会 | 4名 | | |

ふくしチャレンジスクールの開催

ボランティア体験月間にあたる夏休みを利用した体験学習を通して、自立性・協調性を培うと共に、福祉に興味・関心を持つことでボランティア活動への取り組みのきっかけ作りを目的に実施しました。

手話編

開催日 平成25年7月24日(水)

場 所 総和福祉センター「健康の駅」

参加者 57名(小学4年生以下、小年生5・6年生27名・ボランティア30名)

内 容 手話体験学習を通じて、福祉に興味や関心を持ち、ボランティア活動への取り組みのきっかけになることを目的に実施しました。

陶芸編

開催日 平成25年8月1日(木)

場 所 ネーブルパーク工芸館

参加者 74名(小学1年生から6年生)

内 容 敬老の日に高齢者(祖父母)への感謝の気持ちを込めた「湯呑み茶碗」にメッセージを添えたプレゼントとして作成しました。

2 デイ編

開催日 平成25年8月8日(木)～9日(金)
場 所 古河福祉の森会館・宝蔵寺・ネーブルパーク
参加者 119名(小学5・6年生39名・ボランティア80名)
内 容 1日目は、高齢者疑似体験や高齢者施設での高齢者とのふれあい、レクリエーション、手話体験学習を行い、福祉についてのことを学びました。2日目は、点字の体験学習、バーベキュー、陶芸の絵付け、消しゴム判子づくりなどを行いました。2日間を通して、福祉の勉強だけでなく子供たち同士の交流もできました。

ツアー編

開催日 平成25年8月21日(水)
場 所 東日本盲導犬協会及び栃木県防災館
参加者 35名(小学3・4年生の児童及び学生ボランティア12名)
内 容 盲導犬体験と地震・煙・大風・大雨等の災害発生時の状況体験を行いました。

子育てと向き合うための講座の開催

市内在住の0歳～就学前の子育て中の方を対象に、同じ悩みや不安を持つ親同志が、共感し合える仲間との出会いから、自分らしい子育ての仕方をみつけることができた講座となりました。

開催期間 【1回目】平成25年9月3日～10月8日
【2回目】平成26年1月18日～3月6日
各回 午前10時～正午

場 所 古河福祉の森会館及び古河市ふれあい公民館

受講者 【1回目】7名 【2回目】7名

内 容 子育て中の親学習プログラム(ノーバディズ・パーフェクト)を連続して行うことで、不安や心配ごとを親同志の話し合いの中から親としての自立を目的に開催しました。日頃の子育ての悩みや、関心のあること等をファシリテーターが話し合いの進行役となり講座を行いました。

子育てと向き合うためのフォローアップ講座の開催

※H25年度より開始をしました。

「子育てと向き合うための講座」修了者を対象に、その後の子育てを振り返ながら、より一層、親としての自立を目的に開催しました。改めて共感できる仲間との話し合いが有意義な時間となりました。

【1回目】平成25年7月13日(土) 平成24年度修了者 5名

【2回目】平成26年3月13日(木) 平成25年度1回目修了者 7名

各回 午前10時～正午

古河ふれあい広場 2013 の開催

開催日 平成25年9月21日(土)
場 所 ネーブルパーク(ふれあい広場・芝生広場)
参加者 8,000名
内 容 子供から高齢者、障がいのある方やボランティアが集い、遊びを通して各世代間が交流することによって、ふれあいの中から共に支えあうことの大切さを実感し、地域福祉の目を育み明るい豊かな地域社会づくりの推進をはかることを目的に実施しました。(福祉体験・模擬店・バザー・ステージ発表・健康相談など)

「手づくりまつり」の開催

開催日 平成25年10月27日(日)
場 所 古河福祉の森
参加団体 52団体 来場者 3,000名
内 容 手づくりまつりの計画・準備・実践・反省を通じて、わがまちの福祉について理解し、自分たちがどこで、何ができるか考える。そしてボランティアを実践することで、健常者、障がい者、子ども、高齢者が共に学び合い、一人ひとりがこのまつりを通じて心豊かに成長することにより、福祉のまちづくりの推進を図ることを目的に実施しました。

「社協げんきフェスタ」の開催

※H25年度より開始をしました。

開催日 平成25年11月9日(土)
場所 総和老人福祉センター「せせらぎの里」及び周辺
参加者数 来場者 約400名 関係者 約80名
内 容 ○せせらぎの里コーナー ・カラオケ ・ビンゴ大会 ・輪投げ
・グラウンドゴルフ
○介護コーナー ・健康サロン ・介護実演 ・介護(認知症)相談
・福祉機器展示 ・げんき楽々講座
○子育て交流コーナー ・子育て交流会 ・保育者研修会
○あそびコーナー ・竹とんぼ ・折り紙 ・おもちゃすくい
・お手玉 ・ベーゴマ ・ヨーヨーつり
○模擬店コーナー ・コーヒー ・豚汁 ・焼きそば ・フランク

リサイクル研修

実施日 平成25年11月21日(木) 12月19日(木)
場 所 埼玉県環境整備センター グリコピア
対象者 古河市在住・在勤者
参加者 11月21日 23名、12月19日 18名
内 容 日々の生活の中で増え続ける大量のゴミは、今日の社会において大きな社会問題の1つでもあります。ゴミのリサイクルの現状を研修することにより、住民一人ひとりが環境保全に対する関心を高めてもらうことを目的として開催しました。

各種ボランティア講座の開催

傾聴ボランティア養成講座

実施日 平成25年6月12日(水)、13日(木) 計6時間
場 所 三和地域福祉センター
対象者 古河市在住・在勤で傾聴活動に興味、関心のある方
受講者 26名

実施日 平成25年12月11日(水)、13日(木) 計6時間
場 所 古河福祉の森会館
対象者 古河市在住・在勤で傾聴活動に興味、関心のある方
受講者 19名

防災ボランティア講習会

期 間 平成25年3月12日(水)
場 所 古河市中心公民館
受講者 15名
内 容 消防署指導による救急救命(救急法)

おもちゃドクター養成講座 ※H25年度より開始をしました。

期 間 平成25年12月5日(水) 6日(金)
場 所 古河市中心公民館
受講者 9名
内 容 こわれたおもちゃを直す活動を通じて、シニア世代に生き生きと活動できる場を提供するとともに、子供たちの物を大切に作る心を育てるなど、消費者の使い捨ての意識改革につなげることを目的に開催しました。

精神障がいを知る講座 ※H25年度より開始をしました。

期 間 平成25年3月4日（火）11日（火）

場 所 古河福祉の森会館・サフラン工房

受講者 9名

内 容 精神障がいの方が、地域で自立した生活ができるよう、住民が精神障がいの特性を理解し、支え合える地域づくりを目的に開催しました。

ボランティア養成講座

期 間 平成26年1月15日（水）22日（水）29日（水）・2月5日（水）
3月22日（土）

場 所 古河ユースセンター総和・中央公民館

受講者 14名

内 容 ボランティア初心者やこれからボランティアを始めてみたいと考える人を対象に講座や講演会を開催しボランティア活動をより身近なものとして理解いただくとともに、各方面からのボランティア活動の依頼に応えられる人材育成を目的に開催しました。

寄付の受け入れ・払い出し

主な物品の預託としては、使用済み切手・プリペイドカード、ベルマーク・書き損じはがき等で、定期的に預託される方や企業の社会貢献活動の一環として実施していただけるようになってまいりました。

受入れ合計 220件

合計金額 3,417,896円

【H24年度 227件 2,527,145円】

不要入れ歯回収事業

新しい入れ歯の作製に伴い、古くなった入れ歯は不要（ゴミ）となっていました。この入れ歯には貴重な貴金属が含まれており、まとめて精製し取り出された金属をリサイクルすることにより資源として生まれ変わり、その利益がユニセフを通じての支援や回収団体に寄付（換金額の40%）され、ボランティア活動に役立つこととなります。また、ゴミをリサイクルすることでエコロジーの面からも社会に大きく貢献しています。

収益金 23,018円

活動拠点の整備

古河福祉の森会館ボランティア市民活動センター

利用日数 64日

利用者累計 1,280名

5. 貸付事業

生活福祉資金貸付

茨城県社会福祉協議会からの受託事業で、貸付相談及び相談事務手続きを行いました。

- ・総合支援資金
- ・福祉資金
- ・教育支援資金
- ・不動産担保型生活資金
- ・臨時特例つなぎ資金
- ・生活復興支援資金

貸付申請件数 2件【1件】

貸付申請金額 182,000円（内 1件は不承認）【44,000円】

生活一時資金貸付及び緊急生活支援対策事業貸付

古河市社会福祉協議会の自主事業で、低所得世帯に対する支援として貸付を行いました。

貸付件数 2件【3件】

貸付金額 33,000円【50,000円】

「職業・生活等支援サービス強化月間」

古河地域生活福祉・就労支援協議会に関係する機関の連携により、住居・生活面でお困りの方々に、仕事の確保や住居・生活面でのきめ細やかな支援を行い、安心して年末を迎えることができるよう、それぞれの専門分野の担当者が集中的に支援を行いました。

期 間 平成25年11月1日（金）～12月28日（土）

対 象 者 現在、お仕事を探されている方で、就職支援や職業相談・職業紹介・生活支援等に関する相談を希望する方

相 談 窓 口 社会福祉協議会・福祉事務所・ハローワーク古河・保健所

6. 相談活動

心配ごと相談

開催日 隔週水曜日、午後1時30分～3時30分

相談件数累計 39件【H24年度 29件】

相談内容 ・生計6件 ・家族25件 ・医療4件 ・人権、法律2件 ・苦情2件

相談場所 総和福祉センター「健康の駅」、三和地域福祉センター

結婚相談

開催日 毎週日曜日 午後1時～4時

相談場所 古河福祉の森会館 相談室3号

登録者数 92名 男性62名（内 市外23名）・女性30名（内 市外6名）

相談件数 279名 お見合い 47件

＜婚活パーティー＞

期日 平成25年11月29日（金）午後7時30分～9時

場所 古河お休み処坂長「石蔵」

参加者 60名（男30名 女30名） カップル成立 3組

7. 共同募金への協力

茨城県共同募金会古河市支会として、平成25年度共同募金運動（10月1日から赤い羽根募金、12月1日から歳末たすけあい募金）を実施しました。

- ・赤い羽根募金

茨城県内全般の施設等へ配分されるとともに、県内の社会福祉協議会の事業費として配分され、地域福祉事業推進のために使用されました。

- ・歳末たすけあい募金

12月に社会福祉協議会より、歳末配分事業費として使用しました。

- ・「東日本大震災」義援金

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の被災者に対して、義援金の募金活動を行いました。

《赤い羽根募金》

（単位：円）

募 金 方 法	募 金 額	摘 要
1. 戸別募金	19,715,847	
2. 法人募金	2,566,000	企業、事業所
3. 学校募金	1,139,628	小・中学校、高等学校
4. 職域募金	276,230	事業所職員一同等
5. その他	425,852	団体、個人、街頭募金等
合 計	24,471,013	

【H24年度 25,080,657円】

《歳末たすけあい募金》

（単位：円）

募 金 方 法	募 金 額	摘 要
1. 戸別募金	9,228,763	
2. 法人募金	105,000	企業、事業所
3. その他	570,435	団体、個人、街頭募金等
合 計	9,919,198	

【H24年度 10,040,854円】

《災害たすけあい義援金》

（単位：円）

募 金 方 法	募 金 額	摘 要
1. 東日本大震災義援金	813,301	企業、団体、個人

【H24年度 1,579,708円】

8. 介護保険事業

居宅介護支援事業

介護認定を受けた方の状況に応じて、利用者主体の介護計画（ケアプラン）作成に取り組んでまいりました。古河地区と三和地区の2か所に居宅介護支援事業所を設置し、地域に密着したきめ細やかなサービスを提供しています。また、特定事業所としての認定を受け、地域包括支援センターからの困難事例ケースの受け入れ、社協内研修の開催並びに各種研修会へ積極的に参加しました。専門職としてのスキルを高めながら、利用者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活が送れるようなマネジメント展開を進めてまいりました。

《H25 年度延べ利用者数》

	H 2 5 年度	H 2 4 年度	前年度比
居宅介護支援	3, 2 6 2 名	3, 3 0 4 名	4 2 名減
予防居宅介護支援	7 2 0 名	5 6 3 名	1 5 7 名増

訪問介護事業

特定事業所としての認定を受け、サービス提供責任者と登録ヘルパーの信頼関係を築き利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ日常生活を営むことができるようなサービス提供を目的として、内部・外部研修にも参加し資質の向上を図りました。

《H25 年度延べ利用者数》

	H 2 5 年度	H 2 4 年度	前年度比
訪問介護	8 4 6 名	9 1 5 名	6 9 名減
予防訪問介護	4 4 9 名	4 1 2 名	3 7 名増
軽度生活支援	1 4 5 名	1 7 1 名	2 6 名減
移送サービス	2 3 7 名	2 6 8 名	3 1 名減

自動車運送事業

訪問介護事業の移送サービスに付帯して、社協の公用車を使用する場合に実施しています。また、関東運輸局茨城運輸支局長より自家用自動車による有償運送は許可を頂いています。

《H25 年度延べ回数》

	H 2 5 年度	H 2 4 年度	前年度比
自動車運送事業	1, 2 8 7 回	1, 7 7 9 回	4 9 2 回減

9. 自立支援事業

指定居宅介護事業

障がい者等に居宅において入浴、排せつ又は食事の介護等、また外出時における移動支援を提供しました。

《H25 年度延べ利用者数》

	H 2 5 年度	H 2 4 年度	前年度比
指定居宅介護事業	6 3 9 名	6 1 2 名	2 7 名 増
移動支援事業	2 1 名	1 2 名	9 名 増

指定知的障害者地域生活援助事業（グループホーム「かるべ」）

障がい者が自立を目指し、地域において日常生活を営むことができるよう、共同生活住居において食事の提供や相談、その他の日常生活上の援助を行いました。

開所日 平成 1 8 年 6 月 1 1 日

入居者 6 名（定員 6 名）

平成 2 6 年 5 月 2 8 日

社会福祉法人
古河市社会福祉協議会
会 長 宇都木 征 一

